

南海フェリー株式会社 船員を目指そう！フェリーあい体験航海①
大海原で船乗りの仕事を学ぶ

6 月 12 日、和歌山県和歌山市で体験乗船を通じて海や船に親しんでもらおうと、南海フェリー株式会社の「フェリーあい」を利用して「船員を目指そう！フェリーあい体験航海」を開催し、和歌山県白浜町の白浜町立白浜中学校の 3 年生 29 人、白浜町立白浜第一小学校の 6 年生 25 人と白浜町立白浜第二小学校の 6 年生 13 人、和歌山市立有功東小学校の 6 年生 49 人が参加した。この体験乗船は、本組合の大阪支部が企画し、白浜町教育委員会、和歌山市教育委員会、近畿運輸局、公益社団法人近畿海事広報協会、近畿旅客船協会、南海フェリー株式会社の全面協力のもと、関西地方支部管内執行部と職場委員が中心となり実施した。

晴天に恵まれた体験航海の日、116 人の児童と生徒を前に開会式が行われ、田中伸一組合長代行が「今日は、船員が船を動かすところを皆さんに見てもらって、将来船員を目指してもらいたい。また、船の中は滑りやすくなっているので、気を付けながら楽しんでほしい」と主催者あいさつをした後、来賓の浦口高典和歌山県議会議員と山口則夫近畿運輸局海事振興部次長があいさつを述べた。

続いて、白浜町立白浜第一小学校の原田孟さんが生徒代表あいさつを述べ、田中伸一組合長代行から記念の帽子が贈呈された。その後、生徒たちは 4 班に分かれ、南海フェリーの「フェリーあい」に乗船し、さまざまなイベントを体験した。

「フェリーあい」の出港時には、白浜町立白浜第二小学校の中村千尋さんが生徒を代表して、子ども船長として出港の号令や出港後の操舵指示など船長の手伝いを行った。

「海員だより」